

2019年(平成31年)1月オホーツク管内倒産集計

平成31年2月6日

株式会社 東亜リサーチ

北見市常盤町3丁目16番42号

Tel (0157) 23-6288

Fax (0157) 24-1033

最少発生で平穏なスタート 2月以降の動向を注視

発生件数1件、負債総額5,400万円

■前月比件数	1件増加(平成30年12月	0件)
負債総額	5,400万円増加("	0円)
<hr/>		
■前年同月比件数	1件増加(平成30年1月	0件)
負債総額	5,400万円増加("	0円)

平成31年1月の発生状況

平成30年1月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生件数が1件、負債総額は5,400万円だった。

これは発生がゼロだった前月及び前年同月と比較すると全増。当月の1件はオホーツク美幌食品(株)(美幌町・飲食店業)で、人件費増などから収益低調が続き、東京地裁から破産手続開始決定を受けたもので、美幌町での倒産発生は29年5月以来となる。

発生ゼロであった昨年12月から一転して発生月となったものの、小口で最少発生に止まり、平穏な年明となった。

過去5年間と今年1月の発生推移

過去5年間の1月の発生推移は【下・表】の通りで、26年1件、27年2件、28年1件、29年1件、30年ゼロとなっており、平均件数は1.0件、同負債総額は28年にホテル経営の㈱滝沢観光(北見市)が5億9,000万円と比較的大口の倒産発生によって平均値を押し上げ1億4,480万円となっているが、今年は件数で平均値に止まる一方、小口倒産で負債総額は大幅に減少している。

過去5年間と今年1月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
26年	1件	4,600万円
27年	2件	6,000万円
28年	1件	5億9,000万円
29年	1件	2,800万円
30年	0件	0円
31年	1件	5,400万円

31年月別倒産件数・負債額

年月別	件数	負 債 額
1月	1件	5,400円
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
合 計	1	5,400円
30年合計	0	0円
前年対比	1	5,400万円

1月主要因別倒産件数

主要因	30年件数	31年件数
販売不振	0	0
回収難	0	0
過当競争	0	0
連鎖	0	0
計画失敗	0	0
放漫経営	0	0
旧債重荷	0	0
代表死亡	0	0
その他	0	1

1月地区別倒産件数

地区	30年件数	31年件数
北見市	0	0
網走市	0	0
紋別市	0	0
常呂郡	0	0
網走郡	0	1
斜里郡	0	0
紋別郡	0	0

1月業種別倒産件数

業種	29年件数	30年件数
農・林・漁業	0	0
建設	0	0
製造	0	0
卸、小売	0	0
サービス	0	0
飲食・ホテル	0	1
車輛	0	0
運輸	0	0
燃料	0	0
その他	0	0

1月企業形態別倒産件数

企業形態	29年件数	30年件数
株式会社	0	1
有限会社	0	0
特殊法人	0	0
個人	0	0

1月倒産表面化要因別件数

企業形態	29年件数	30年件数
法的処置	0	1
2回目不渡り	0	0
弁護士一任	0	0
その他	0	0

今後の見通しと問題点

オホーツク管内は冬期間の閑散期を迎え、季節的な要因もあって管内各地の景況感は悪化の見込みと先行き厳しい見通しとなっているが、1月を見る限りでは倒産は最少発生に止まっているなど昨年に続き平穏なスタートを切ったといえる。

緩やかな景気拡大基調が続くなか、低金利の恩恵もあって企業倒産は依然として減少傾向が続いており、急激に増加局面に転じる恐れはないと見られる。しかし、人手不足に加え10月にせまった消費税率10%への引き上げが消費マインドに影響する懸念がある。これらリスク要因の動向次第では減少傾向が底打ちする可能性は十分にあり、2月以降の動向を注視する必要がある。